

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

安城市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（平成30年4月～令和3年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
・公共交通全体の年間利用者の増加 (全体) H28:1,446万人 →R4:1,602万人 (全体の内、鉄道) H28:1,363万人 →R4:1,511万人 (全体の内、バス) H28:83万人 →R4:91万人	以下の基本方針に基づく施策の実施 【基本方針1】 多様な交通手段が相互に連携した持続可能な公共交通ネットワークの維持・活性化 【基本方針2】 将来都市構造を誘導するために強化した公共交通軸の維持・活性化 【基本方針3】 公共交通への利用転換を図る各種施策の継続展開 【基本方針4】 みんなで取り組む仕組みの構築による持続可能な公共交通の実現・活性化	交通事業者提供資料及び市民アンケートより集計	・公共交通全体の年間利用者数 (全体)R2:1,205万人（R1:1,605万人） (鉄道)R2:1,142万人（R1:1,519万人） (バス)R2:63万人（R1:86万人） →すべての項目で未達成 R1年の評価時点まで公共交通の利用者数は順調に増加していたが、新型コロナウイルスの影響によりR2において大きく減少した。利用者の回復のため、利用促進策の実施が重要となる。	・落ち込んだ利用者の回復を図るため、引き続き利用促進策を実施する。 ・バスロケーションシステム等による情報提供やバス活用ガイド、バス案内人、時刻表・マップの配布等による利用促進を引き続き実施する。 ・イベント等にあわせ、本市だけでなく周辺他市と連携した利用促進策を検討・実行する。 ・令和3年度実施のバス利用状況調査及び令和4年度に実施する市民アンケートにより、これまで取り組んだ施策の評価を実施するとともに、安城市における公共交通の課題を整理し、次期計画に反映させる。	
・中学校区別の公共交通全体の不満割合の減少 ・H29:15.0～56.9% →R4:現況値未満			・中学校区別の公共交通全体の不満割合の減少 R1:24.3～54.3% →全8地区の内、3地区が達成し5地区が未達成 費用負担に関するアンケート結果において、現状以下の負担を望む結果となっている。 安城市内の94%が公共交通圏域としてカバーされていること、パーソントリップ調査における安城市の公共交通分担率が低いことから、公共交通の役割とサービスの認知度向上により、市民の公共交通への理解を深める必要がある	・健康や環境という観点から公共交通をアピールし公共交通への理解を深めるため、子供、高齢者、子育て世代など幅広い世帯に対してもまちかど講座を実施し、市民の公共交通への理解を深めるよう努める。 ・令和3年度実施のバス利用状況調査及び令和4年度に実施する市民アンケートにより、これまで取り組んだ施策の評価を実施するとともに、安城市における公共交通の課題を整理し、次期計画に反映させる。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。